

平成30年度おかやま協働のまちづくり賞応募募用紙

平成30年 9月 28日

岡山市長 様

応募者代表 団体名 岡山市北区京山地区ESD推進協議会（京山ESD）
氏名 会長 池田 満之

平成30年度「おかやま協働のまちづくり賞」に応募します。

取組の名称	岡山市北区京山地区 地域の絆プロジェクト	
<p>取組の概要</p> <p>※インターネット投票を行うサイトにそのまま掲載します。 今年のテーマとの関連がわかるよう、目的（解決を目指している課題）及び取組概要を300字（句読点含む）以内で記載してください。</p>	<p>京山ESDは地区が目指す目標と取組を設定しています。その中に「障害者や高齢者も誰もが安心して暮らせる、安全で安心な住みよい地域」を掲げています。「地域の絆プロジェクト」はその目標達成のために様々な団体との協働行動の中心として活動をしています。</p> <p>①自転車マナーに取組む「やさしく走ろう京山」運動 ②支援が必要な子どもたちについて保護者が交流する「子育てトーク」 ③誰もが参加できる交流の場「京山みんなのカフェ」 ④世代を超えてつながるために、高校生の企画運営する『京山えーもの探検隊』 ⑤地区の取組などを紹介する「地域の絆プロジェクトだより」</p> <p>この5項目を「5つの柱」と位置付け、課題解決へ取り組んでまいります。</p>	
協働団体	<p>◇伊島学区連合町内会及び各町内会 ◇津島学区連合町内会及び各町内会 ◇伊島学区交通安全対策協議会 ◇伊島学区交通安全母の会 ◇伊島学区安全安心ネットワーク ◇伊島学区老人クラブ ◇津島学区交通安全対策協議会 ◇津島学区安全安心ネットワーク ◇京山地区地域安全パトロール隊 ◇津島学区交通安全母の会 ◇津島学区老人クラブ ◇御野学区連合町内会 ◇御野学区交通安全対策協議会 ◇岡山大学学生支援課 ◇岡山大学地域のつながり協議会 ◇岡山商科大学 ◇明誠学院高等学校 ◇岡山県立岡山工業高等学校 ◇岡山県立烏城高等学校 ◇岡山市立京山中学校 ◇子どもの社会参加を考える会 in 京山 チューリップの会 ◇岡山市障害者支援センター ◇津島生活学校 ◇NPO法人岡山フードバンク ◇岡山市北区北地域包括センター</p>	
取組の実施期間	<p>始期：平成25年 9月～</p>	<p><input type="checkbox"/> 平成 年 月 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続予定 <input type="checkbox"/> 平成 年 月 頃終了予定</p> <p>※該当するものに☑し時期の予定し必要事項記入してください。</p>

〔様式1〕 協働による社会課題解決の取組の内容

取組の名称	岡山市北区京山地区 地域の絆プロジェクト
平成30年度募集テーマ	やりがいと豊かな暮らし SDGs目標8：働きがいも経済成長も SDGs目標11：住み続けられるまちづくりを
テーマとの関連	<p>◎テーマと合致する貴団体の取組についてお書きください。 すべての取り組みが「SDGs目標11：住み続けられるまちづくりを」に位置付けられます。これらの取組で住みやすいまちの仕組みづくりを目指しています。 また、様々な団体との協働行動される方々のやりがいを作りだしています。「SDGs目標8：働きがいも経済成長も」を視野に入れた取組であります。</p> <p>①「やさしく走ろう京山」運動は京山地区最大の課題である自転車マナー問題に取り組む。 ②「子育てトーク」で障害を持つ人が安心して住み続けられる街を目指す。 ③高齢者などの居場所づくりの第一歩として「京山みんなのカフェ」。 ④世代をつなげるためのいろいろな取り組みをさぐる。 ⑤京山地区の素晴らしい取り組みを紹介するとともに、行事紹介で地域をつなげるとりくみ。</p>
目的・解決をはかりたい課題の状況・目標	<p>◎取組の目的、解決をはかりたい社会課題の状況把握・ニーズ把握、解決後の姿（目標としている状況）などについてお書きください。</p> <p>岡山市北区京山地区ESD推進協議会は将来展望から設定した京山地区が目指す5つの地域像（目標）とESDの取り組みを設定しています。その中に「障害者や高齢者も誰もが安心して暮らせる、安全で安心な住みよい地域」を掲げています。地域のいろいろな課題に地域ぐるみで取り組む「地域の絆プロジェクト」を進めています。</p> <p>①自転車マナー問題に取り組んでいる「やさしく走ろう京山」運動 京山地区を走るとの自転車も安全に安心して走ることができるような、やさしい地区であることを願っています。自転車マナーの向上はすぐにすぐ解決できる課題ではないと考えています。継続的に、地道に活動が続けることが最も重要であると考えて活動をしています。 また、『岡大入口、学南町交差点』で自転車マナー向上の呼びかけによって、伊島・津島学区を中心に隣接の御野学区町内会・交対協など、岡山大学学生支援課・岡山大学地域つながり隊の学生の方などの協働行動を実施しています。この活動が岡山市全体へ広がり、「自転車先進都市おかやま」に発展することを願っています。</p> <p>②支援が必要な子どもたちについて話し合う「子育てトーク」 障害者も安心して暮らせる地域をめざして、支援の必要な子どもたちの保護者たちが困難な子育てで、孤立しないような学区を目指しています。支援の必要な子どもたちを持つ保護者はなかなか自分の苦悩や不安を本音で話す場がないのが実情です。とりわけ、転居してきた保護者の困難さは思いあまるものがあります。「子育てトーク」は、専門家や先輩の保護者の意見を聞きながら、子育ての困難さを本音で語ることができる場になることを目指しています。</p> <p>③高齢者のなどにとっての情報交換の場、また、音楽や講演を聞きながら、ゆったりと過ごす場が必要という事で「京山みんなのカフェ」を約月1回実施しています。この場には、フードバンク岡山の食料の受け付けも行っています。月1回、公民館を会場にという事で限られた活動になっています。大変難しい目標ではありますが、日常的に「京山みんなのカフェ」を開催することを目指しています。</p> <p>④世代を超えてつながるために、全世代の交流を深める『京山えーもの探検隊』 地域の中で、いろいろな世代が繋がることが重要です。そこで、世代を超えてつながるために何ができるかを論議し、第一歩としてウオーラリーを実施しました。中高生との協働行動の継続は、卒業などの世代交代のために継続することが大変難しく感じています。しかし、学校の教職員の方の協力や先輩からの引き継ぎで、活動を定着させることができることを目指しています。 また、高校生、大学生は京山学区以外の出身者がほとんどであるために、卒業後、自分の地域や就職先でESD活動を広めてもらう事も視野に入れて協働行動を行っています。</p> <p>⑤京山地区の取り組み、団体を紹介する「地域の絆プロジェクトだより」発行 「地域の絆プロジェクト」は京山地区様々な団体の縦横のセンターになることを目標に活動しています。その中で、それぞれのESDの取り組みを地域のみなさんに知らせようと「地域の絆プロジェクトだより」を年4回発行しています。京山地区にはたくさんの素晴らしい団体が活動しています。できるだけ多くの団体や行事を紹介することで、地域活動に目を向けてくれることを願っています。</p>

取組の内容	<p>◎取組の内容について具体的にお書きください。</p> <p>1 取組の対象：対象地域、対象者、対象人数など（ほとんど京山学区内）</p> <p>①「やさしく走ろう京山」運動：京山地区（御野学区、岡山大学）小・中・幼稚園保護者・一般 2000枚程度の啓発プレート</p> <p>②「子育てトーク」：約2ヶ月に1回の懇談会（20名～30名）、年1回の講演会（60名）</p> <p>③「京山みんなのカフェ」：NPO法人フードバンク岡山の食料受け付けを併設（15名～40名）</p> <p>④『京山えーもの探検隊』：各回約60名（中学・高校・大学生や地域住民）</p> <p>⑤「地域の絆プロジェクトだより」の発行：京山地区の素晴らしい取り組みを紹介するとともに、行事紹介で地域をつなげるとりくみ。</p> <p>3, 6, 9, 12月の年4回発行。各号9800枚、京山地区各戸配布、2018年9月で18号。</p> <p>2 活動内容、実施方法など（活動ごとに箇条書きで）</p> <p>地域住人から提案のあった課題について、京山地区の様々な縦横の関係のある団体との協働行動を調整する機能をもつセンターを目指して活動しています。</p> <p>① 自転車マナー問題に取り組んでいる「やさしく走ろう京山」運動</p> <p>外国から来られた方の「自転車が不得意な私らが走っていると、後から猛スピードで追い越されて大変怖い思いをした。自分のような自転車初心者でも安心して走れる地域になって欲しい。」この発言から「やさしく走ろう京山」運動がスタートしました。小・中学校、幼稚園の保護者の方、地域の高齢者などに啓発プレートを配布し、後ろから来た自転車に「やさしく走ってね」と呼びかけています。H30年度、岡山県警察本部、交通安全協会から交通安全優良団体として表彰を受けました。</p> <p>また、京山学区の中で最も自転車通行量の多い『岡大入口、学南町交差点』で自転車マナー向上の呼びかけを行っています。この交差点は、伊島・津島・御野学区の境目にあり単独の交通対策協議会では取組めない場所ですので、「自転車マナー向上協働行動」として、伊島・津島学区を中心に隣接の御野学区町内会・交対協など、岡山大学学生支援課・岡山大学地域つながり隊の学生の方などとの協働行動を実施しています。</p> <p>②支援が必要な子どもたちについて話し合う「子育てトーク」</p> <p>目標の冒頭に「障害者も安心して暮らせる地域」をかけた、支援の必要な子どもたちの保護者に呼び掛け、約2ヶ月に1回の「子育てトーク（懇談会）」を開催しています。また、年に1回、発達障がい理解を深める講演会をも開催しています。この活動の中心は「子どもの社会参加を考える会 in 京山 チューリップの会」が担っています。この懇談会には、発達障害に詳しい、発相談支援員の方や、臨床発達心理士の方の同席を頂き、アドバイスをいただいています。また、この活動は岡山市発達障害者支援センター、との協働行動になっています。</p> <p>③高齢者にとっての情報交換の場、また、音楽や講演を聞きながら、ゆったりと過ごす場が必要という事で「京山みんなのカフェ」を約月1回実施しています。認知症や介護の話題、ESDの取り組みの様子、海外視察の報告、時に演奏などを入れてのんびりとした有意義な場を設けることができます。また、ESDフェスティバルの中の「京山みんなのカフェ」では、チューリップの会の子どもたちが、接客などの「お仕事体験」も行っています。この場には、津島生活学校の方が中心になってNPO法人フードバンク岡山の食品受け付けも行っています。また、北地域包括センターとの協働行動と位置づけています。</p> <p>④世代を超えてつながるために、全世代の交流を深める『京山えーもの探検隊』</p> <p>地域の中で、いろいろな世代が繋がる重要性が論議されています。そこで、世代を超えてつながるために何が出来るかを論議しました。まず第一歩として「世代が繋がることのできる場を作る」ことに取り組みました。ウオーラリーは実施可能という事で二回行いました。この『京山えーもの探検隊』は明誠学院、岡山工業、烏城高校、京山中学、岡山大学、岡山商科大学、学区外ですが一宮高校などの生徒・学生が中心になって企画・運営を行いました。この取り組みで、京山地区の「えーもの」を世代を超えて学ぶことができました。</p> <p>⑤京山地区の取り組み、団体を紹介する「地域の絆プロジェクトだより」発行</p> <p>「地域の絆プロジェクト」は京山地区様々な団体の縦横の調整機能センターになることを目標に活動して来ています。その中で、それぞれのESDの取り組みを地域みなさんに知らせようと「地域の絆プロジェクトだより」を年4回発行しています。各町内会のご協力を得て、京山地区の9800世帯に全戸配布しています。毎年京山地区ESDフェスティバルの地域の絆プロジェクトで話し合った内容、「緑と水の道」のとりくみ、小・中・高校のESDのとりくみ、町内会のとりくみ、愛育委員会、劇団公民館、チューリップの会、フレンドリー京山、運動公園の紹介などを取り上げてきました。</p>
-------	---

◎取組をWEB等で告知している場合はそのURLをお書きください。

<http://www.ko-d.net/pages/esd/>

	団体名	この取組で果たしている役割	
協働団体とその役割	伊島学区 連合町内会及び各町内会	「やさしく走ろう京山」運動の推進 『京山えーもの探検隊』活動 「地域の絆プロジェクトだより」	
	津島学区 連合町内会及び各町内会	「やさしく走ろう京山」運動の推進 『京山えーもの探検隊』活動 「地域の絆プロジェクトだより」	
	伊島学区交通安全対策協議会	「やさしく走ろう京山」運動の推進	
	伊島学区交通安全母の会	「やさしく走ろう京山」運動の推進	
	伊島学区安全安心ネットワーク	「やさしく走ろう京山」運動の推進	
	伊島学区老人クラブ	「やさしく走ろう京山」運動の推進	
	津島学区交通安全対策協議会	「やさしく走ろう京山」運動の推進	
	津島学区安全安心ネットワーク	「やさしく走ろう京山」運動の推進	
	京山地区地域安全パトロール隊	「やさしく走ろう京山」運動の推進	
	津島学区交通安全母の会	「やさしく走ろう京山」運動の推進	
	津島学区老人クラブ	「やさしく走ろう京山」運動の推進	
	御野学区連合町内会	「やさしく走ろう京山」運動の推進	
	御野学区交通安全対策協議会	「やさしく走ろう京山」運動の推進	
	岡山大学学生支援課 岡山大学地域つながり協議会	「やさしく走ろう京山」運動の推進	
	岡山商科大学	『京山えーもの探検隊』活動 企画運営	
	明誠学院高等学校	『京山えーもの探検隊』活動 企画運営	
	岡山県立岡山工業高等学校	『京山えーもの探検隊』活動 企画運営	
	岡山県立烏城高等学校	『京山えーもの探検隊』活動 企画運営	
	岡山市立京山中学校	『京山えーもの探検隊』活動 企画運営	
	子どもの社会参加を考える会 in 京山 チューリップの会	子育てトーク 企画運営	
	岡山市障害者支援センター	子育てトーク 助言	
	津島生活学校	京山みんなのカフェ 食品受付	
	NPO法人フードバンク岡山	京山みんなのカフェ 食品受付	
	岡山北区北地域包括支援センター	京山みんなのカフェ 講演など	
	取組の工夫	◎地域資源や人的資源の活用など工夫した点をお書きください。	
	取組の特徴	<p>京山地区ESD推進協議会の組織は京山公民館を拠点として、京山地区内にある幼稚園・小学校・中学校・高等学校・大学、そして京山地区内にあるNPO、市民団体が一体になってESD活動を行っています。その京山ESDに支えられて地域の絆プロジェクトも活動してきています。</p> <p>活動の多様性によって、中高生から高齢者までの幅広い方々がやりがいを持って活動できる場を作りだしています。</p> <p>◎取組の特徴やアピールポイントをお書きください。</p> <p>取組内容は、毎年開催されている「ESDフェスティバル（H30年1月で13回）の行事の一つである、熟議「地域の絆プロジェクト」で論議された内容で、取組が必要な京山地区の課題、企画委員会で取組可能な事を厳選取組んできました。その結果として、一貫性に欠ける部分はありますが、上記の5つの柱で活動しています。そのため、その活動に応じて京山地区ESD推進協議会の学校や市民団体やさらに広げた団体と協働行動をとることができています。そのことによって単独の団体では中々協働できないような所へまで踏み込むことができていると思います。</p>	

<p>成果・効果</p>	<p>◎取組を通じて得られた成果や、解決した社会課題の状況、また関連した地域への効果や変化などをお書きください。</p> <p>①「やさしく走ろう京山」運動 この運動によって「自転車マナー」が目に見えて良くなったというわけにはいきません。しかし、啓発プレート中心に意識改革が進んでいると感じています。また、学区を超えた運動や「自転車先進都市おかやま」をめざす一翼は担う事ができていると考えています。</p> <p>②「子育てトーク」 支援が必要なお子さんをお持ちの保護者の方の苦悩や不安は計り知れないものがあります。この「子育てトーク」に参加することにより、同じように支援が必要な保護者の方と話したり、先輩の保護者の方や専門家からアドバイスを貰う事で幾分でも安らぐことができていると思います。また、このような活動は発達障害への理解を広めることができます。また、転勤者が多い京山地区では不安を抱えて移住してくる保護者の方の受け皿になっています。</p> <p>③「京山みんなのカフェ」 いわゆる、月1回のサロンです。その意味では、多くの町内会などでの取組と変わるものではないと思います。いろいろなイベントでは京山地区の隠れた人材の発掘をめざし、各町内への紹介も行っています。また、目指す方向としては「京山みんなのカフェ」がもっと頻繁に開催でき、真の交流の場としての役割を果たすことができたらと考えています。</p> <p>④「京山えーもの探検隊」 世代間交流の必要性から、試行錯誤で取組んでいます。大人の企画したイベントに参加・協力するという事ではなく、全面的に高校生が企画・運営しています。高校生のメンバーは毎年変わるので不安定ですが、「世代を超えて交わる場を作る」「京山地区のえーものを学ぶ」視点を掲げています。京山地区出身の生徒は少ないですが、それぞれの地区で、それぞれの将来のどこかで、ESD活動を発展させてくれるものと期待しています。</p> <p>⑤「地域の絆プロジェクト だより」 大変ありがたいことに、各町内会のご協力で配布することができます。「地域の絆プロジェクト」が縦横の関係を発展させ、ESD活動・SDGsへの取組を推進する要となっているのではないかと考えています。</p>
<p>今後の活動展開など</p>	<p>◎今後の成果の普及や活動展開などについてお書きください。</p> <p>どの活動も継続させることこそ重要だと考えています。その結果、SDGs「住み続けられるまちづくりを」が少しでも達成できたらと思っています。そして、どの取組もさらに主体的な参加者を増やし、やりがいを持って地域活動ができるようにしていきたいです。</p> <p>また、活動分野として「防災について」一般の地域住民の本音の声が生かせるような取組ができたらと考え、準備を始めています。</p>

岡山市北区京山地区ESD推進協議会 地域の絆プロジェクト

京山ESDは地区が目指す目標と取組を設定しています。その中に「障害者や高齢者も誰もが安心して暮らせる、安全で安心な住みよい地域」を掲げています。「地域の絆プロジェクト」はその目標達成のために様々な団体との協働行動の中心として活動をしています。

取組内容

- ① 自転車マナーに取組む「やさしく走ろう京山」運動（下に一例を掲載）
- ② 支援が必要な子どもたちについて保護者が交流する「子育てトーク」
- ③ 誰もが参加できる交流の場「京山みんなのカフェ」
- ④ 世代を超えてつながるために、高校生の企画運営する『京山えーもの探検隊』
- ⑤ 地区の取組などを紹介する「地域の絆プロジェクトだより」（右に一例を掲載）

「自転車マナー向上協働行動」 2018年10月9日(火) 8:00~9:00 (少雨決行)

岡大入口、学南町交差点付近 (集合場所：シティーライスタジアムGゲート)

【目的】・周辺地域、大学等の協働行動によって、岡山市の自転車マナー向上を呼び掛ける

- ・「自転車先進都市おかやま」のモデルとなることをめざす
- ・「やさしく走ろう京山」運動を推進する

【宣伝行動】自転車マナー向上のチラシ配布
のぼり・服装・腕章（各団体）

【今まで（2017.11.21 2018.5.8）の参加団体】

- ◇岡山市北区京山地区ESD推進協議会 ◇京山地区安全パトロー隊
- ◇御野学区（連合町内会・安全安心ネットワーク、交通安全対策協議会）
- ◇津島学区（連合町内会・各町内会・安全安心ネットワーク、交通安全対策協議会・交通安全父母の会）
- ◇伊島学区（連合町内会・各町内会・安全安心ネットワーク、交通安全対策協議会・交通安全父母の会）
- ◇岡山大学学生支援課 ◇岡山大学地域のつながり協議会 ◇岡山市議会議員
- ◇岡山市自転車先進都市推進担当課 ◇岡山市交通安全防犯室 ◇山陽新聞社 ◇瀬戸内海放送
- ◇岡山市市民協働企画総務課 ◇岡山西警察署交通第一課 ◇岡山西署いずみ町交番、北方交番

【連絡先】岡山市京山地区ESD推進協議会
「地域の絆プロジェクト」企画委員会
700-0016 岡山市北区伊島町2-9-38
京山公民館内 TEL (086) 253-8302



2018年5月9日 山陽新聞



「やさしく走ろう京山」運動

京山地区の大きな地域課題として「自転車マナーが悪い」があります。この解決をめざして、京山地区ESD推進協議会、地域の絆プロジェクトの取り組みとして「やさしく走ろう京山」運動を3年前から、区づくり推進事業助成も受けてすすめています。

E (えーものを) S (子孫の) D (代まで)

発行日 2018. 3. 1
編集発行 岡山市京山地区ESD推進協議会
地域の絆プロジェクト企画委員会
事務局 京山公民館 Tel・Fax 086-253-8302

京山地区のSDGs重点取組目標

SDGs目標達成に向けて京山地区のとりくみを

第13回京山地区ESDフェスティバル

1月27日(土) 28日(日) 京山公民館で第13回ESDフェスティバルが開かれました。今年のテーマは「かきよう虹を京山ESDから世界へ」でした。

京山ESD・SDGs対話では、京山地区を持続可能な地域にしていくためにどのような行動を起こすのかを話し合いました。話し合いには、京山地区にある小・中・高・大学生や地域の大人たちが、大森市長と活発な話し合いを行いました。また、この対話の場には、教育長、岡山大学学長、ユネスコ協会会長、ESD推進協議会会長、経済同友会代表幹事、参議院議員など多くの方が同席され発言されました。京山地区がSDGs目標達成に向けて、大きな社会変革の波を生み出すきっかけの場になりました。

SDGsって何？

SDGs (エスディーゼーブ) は、2030年までに持続可能な開発を目指す世界の具体的な目標です。開発途上国だけでなく先進国もめざすすべての国で、貧困、気候変動や環境保護、不平等、インフラ、エネルギー、生物多様性など世界のあらゆる課題を17の目標と169のターゲットからなる持続可能な開発を目指す、世界全体の大きな目標です。

高校生パワー グレードアップ 『京山えーもの探検隊』Part2 3月21日ウォークラリー企画

毎年開催している地域の絆プロジェクトは、昨年に引き続き「世代を超えてつながるために」何ができの話し合いを行いました。今年は、前回のESDフェスティバルのまとめとして出た、企画委員会段階から若者が加わるということで、明誠学院と岡山工業高校の生徒さんの実行委員会が企画運営を行いました。内容は、「普通び」「ウォークラリー」の2本立て。全体で79名集まり、和気あいあいと話し合いました。今年もさらにグレードアップした高校生パワーに圧倒された大人たちでした。その話し合いを受けて、今年度も「世代を超えてつながるために」ウォークラリーを3月21日(日)に開催します。たくさんの方のご参加をおまちしています。

「自転車先進都市おかやま」をめざして 地域協働フォーラムに80名参加 道徳にマナー啓蒙活動が突め手

「やさしく走ろう京山」運動の一環として、お隣の御野学区の方、市役所の方、岡山大学の学生さんなど幅広く学区以外の方にも集っていただきフォーラムを開きました。市役所の担当の方から「自転車先進都市おかやま」の施策も聞き、50名の参加で議論しました。自転車マナーのとりくみに王道はなく、「地道に啓蒙活動をしていくことが一番の近道」だと再認識をしました。このとりくみを、周りに広げる事ができたのは大きな成果でした。引き続き「やさしく走ろう京山」運動を行いますので、ご協力をよろしくお願ひします。

